

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】(ユニット5階)

事業所番号	2770301162		
法人名	株式会社エフ・エム・シー介護サービス		
事業所名	FMCグループホーム		
所在地	大阪府寝屋川市本町16番5号		
自己評価作成日	平成31年3月23日	評価結果市町村受理日	令和元年5月23日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク福祉調査センター		
所在地	大阪府中央区常盤町2-1-8 FGビル大阪 4階		
訪問調査日	平成31年4月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームでは地域に根付いた事業所をめざし、自治会からはお餅つき・お祭り・地藏盆・お花見・敬老会・自治会主催の消防訓練等、毎年声をかけていただき入居者様と一緒に参加させていただいております。入居者様も地域の方と顔なじみになり、普段の散歩のときなどもご近所の方や子供さんから「こんにちは、いつもお元気ですね」と声をかけてもらっています。また、地域の一人暮らしの高齢者や体の不自由な方の見守り活動にも力を入れており、自治会長や民生委員の方、第1中学校区包括支援センターと連携を図っています。ホームの消防訓練には自治会の消防団の方々も参加していただき意見を聞くなど友好な関係を築いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	1階玄関とスタッフルームに、介護十訓・介護理念を掲示しており、職員一同、これを踏まえ、ご利用者様のケアに携わっています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会の方が催して下さる地域の行事に可能な限り参加させて頂くことで、地域の方々との交流を図っています。 散歩時にも、挨拶を交わすなど、良好な関係を築いています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	「介護何でも相談室」の看板を掲げており、いつでも相談を受け入れることの出来るよう取り組んでいます。 共用デイも行っており、地域の方々に活かす機会も増えている様に思います。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方々との予定が合わず、定期的を開催することが難しいですが、開催した際には、様々な意見を頂き、サービスの向上に活かしています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	過去には緊急措置の方の受け入れも行っており、現在も生活保護受給者の受け入れを行っている為、施設として市町村の担当者と密に連絡を取り、より良い関係を築く様、心掛けています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	建物内に他テナトが入っていることや、車通りの多い立地であることなどの理由から、ご利用者様の安全確保の為、玄関の扉等を施錠していますが、勉強会を開催し、身体拘束をしないケアを理解し、取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を開催し、高齢者虐待について学ぶ機会を設け、虐待の防止に努めています。 リスクマネジメント委員会も定期的を開催しており、言葉遣い等スタッフ間でもお互いが注意出来るような関係作りにも努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご利用者様の中には、成年後見人制度を利用されておられる方もおられる為、制度を周知していくように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関することは、施設として館長が対応していますが、疑問や不安をお持ちの時には、十分な説明を行い、理解して頂ける様に努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	フロアに意見箱を設置し、意見や要望を反映出来るよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダー会議・フロア会議を月1回開催しており、意見や提案を聞く機会を設け、職員の意見が反映出来る様努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成時には、希望休を出来る限り考慮して作成しています。勤務形態についても、個々の希望に添える様、配慮しています。それぞれの実績や能力を考慮し、向上心を持って働くことの出来る様努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回程度勉強会を開催しています。キャリアアップ等を利用し、外部の研修に参加することも可能ですが、入職時には、未経験の方でも安心して働くことの出来る様、指導を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設として、館長やケアマネージャーが会議や勉強会に参加し、同業者との交流を図り、サービスの質が向上する様努めています。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学・入居時には、ご本人様としっかりとコミュニケーションを図り、お話を傾聴し、ご要望や、不安に感じておられる事等を確認し、焦らずに寄り添い、信頼関係を築く様努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設として可能な限り、ご家族様の思いをくみ取る事が出来る様努めており、より良い関係作りを目指しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを導入する際には、ご本人様・ご家族様の必要としている支援を見極め、ご要望に応じた対応が出来るように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様個々のADLや状態を考慮し、それぞれにあった役割を持って頂き、共に生活している者同士の関係を築くことの出来る様努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が面会に来られた際、本人様の状況を伝え、ご家族様のご要望等を聞かせて頂くことで、出来る限りご要望に応えることの出来る様努めています。ご家族様と共にご利用者様を支えていけるような関係を築ける様努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様が入居されるより以前のご友人が面会に来られるなど、これまでの関係が途切れることの無いよう、支援を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の相性やADLを踏まえ、食事やレクリエーションの席等、配慮しています。 レクリエーションの際には、ご利用者様が孤立することの無いよう、スタッフが間に入り、少しでも楽しんで頂ける様に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了したとしても、必要に応じ、相談等があれば対応する様に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	健康面・安全面等にも配慮を行い、出来る限りその方の希望に添った生活を送って頂ける様努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様やご家族様より情報を収集し、これまでの生活歴や入居前に利用されていたサービスの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中から、ご利用者様おひとりひとりの現在の状態を把握し、申し送りをしっかり行い、情報を共有できるように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアカンファレンスを実施し、ご利用者様の状況から課題やケアについて話し合い、本人様やご家族様の意向を踏まえて作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	管理日誌や申し送り用紙、個人記録を作成、記録することで情報を共有し、介護計画を見直す様に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様やご家族様の希望に合わせ、整骨院の利用や、訪問カット・訪問歯科・ZIP体操の利用などもして頂いています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会のイベントや、地域の催しものに参加させて頂いており、近くの神社や公園に散歩に行く等しています。 コンビニエンスストアも近くにある為、利用させて頂いています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回、提携しているかかりつけ医に訪問診療をして頂いています。必要時は臨時往診もさせて頂いており、必要であれば外部の病院を定期的に受診して頂く等の対応もしています。歯科医についても、本人様の状態や、ご家族様の意向に沿って利用させて頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の様子は定期的にはFAXにて連絡を行い、異変時には、電話にて連絡し、対応して頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	提携している病院がいくつかあり、その中から、ご利用様が掛かりつけたことのある病院を把握しており、入退院時には、サマリーを頂く等して、より良い関係作りに努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に看取りの指針の説明を行い、必要になった際やお気持ちに変化を感じたときなど、ゆっくりと時間をかけご家族様の意向を聞き取り、本人様やご家族様の意向を踏まえてチームとして支援に取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルを作成しており、会議等でも確認する様にしています。施設での勉強会でも、異変時の対応等、学ぶ機会を設けています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を実施しています。運営推進会議でも、地域の方々と話し合い、地域の方々と連携を図る為にも地域の防災訓練に参加させて頂いており、施設での避難訓練にも参加して頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	介護十訓でも『利用者様の尊厳とその人らしさを守ります』と掲げており、その人らしさや、尊厳を守ることが出来る様、言葉遣いにも注意し、支援を行う様心掛けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	レクリエーションの参加や入浴、散歩等様々な部分で、ご本人様の意思や希望を尊重し支援を行う様にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り職員の都合に左右せず、ご利用者様一人一人の体調や心身の状態に合わせ、その方のペースに合わせた対応が出来るように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服についても、ご本人様の意向を確認するなどしています。カットも訪問カットを定期的にご利用して頂き、ご自身の意向に沿ってカットをして頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理員の方がおられる為、食事の準備はしていませんが、食事の片付けは、ご利用者様に協力頂き行っています。誕生日などは、お重に詰める等して食事を楽しんで頂ける様工夫をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態に合わせ、食事形態を、刻み食・ペースト食・極キザミ・おにぎり・粥などに変更する等の対応をしています。摂取量についても、記録を残し、対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	拒否の強い方もおられる為、全員の口腔ケアを実施することは出来ていませんが、出来る限り口腔ケアを実施する様努めています。実施方法についても本人様の状態に合わせて口腔ガーゼやスポンジも使用しています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄記録を記載しており、その方の状況に合わせて排泄介助を実施しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食やおやつ時にヨーグルトや牛乳を提供することで、排便を促していますが、便秘時には、牛乳カルピスを提供するなどして、便秘の予防に努めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人様の体調や、心身状態を考慮して、出来る限り希望に応じた入浴をして頂ける様に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人様の体調や状態に合わせて休憩時間を設けています。入眠時間についても、出来るだけ、本人様に合わせ、寝つきの悪い方については、ホットミルクを提供するなどして安眠を促しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の重要性や、誤薬の危険性などを認識した上で、支援に携わっており、服薬時には、声出し確認も行い、服薬後には、記録表にサインをする等の対応をしています。内服薬等の内容についても主治医や薬剤師からも説明を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ZIP体操や、書道、カラオケをして頂くことで、張り合いや楽しみを持って過ごして頂ける様努めています。掃除や食器拭き、洗濯物干し等、役割を持って頂く様にしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節ごとに、初詣や花見、地藏盆や買い物に出かける等、様々な企画を行い、外出の機会を設ける様努めています。ご家族様と外食の機会がもてるよう、本人様の希望をご家族様に伝える等の対応もしています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭を理解できなくなっておられる方もおられますが、一緒に買い物に出かけたときには、支払いをして頂く等の支援を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様から電話をしたいとのご要望があれば、電話を掛ける等の対応をしています。字の書ける方に関しては、暑中見舞いを、自身にて書いて頂く等の支援を行っています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースにご利用者様の作品や写真を飾る等しており、季節を感じて頂ける様、毎月、手作りのカレンダーを貼る等の対応をしています。ベランダ園芸を行っており、四季折々の季節感を味わって頂ける様な工夫を行っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースにテレビやカラオケ機を設置し、ソファーやリクライニングチェアにて、寛いで頂き、共にリラックスできるような空間作りを心掛けています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に使用されていた家具を置くなどして使い慣れたものを使用させて頂くことで、居心地よく過ごして頂ける様にしています。床で過ごして頂ける様、絨毯を敷くなどの工夫もしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室には、見えやすい位置に名札や写真を貼るなどしており、トイレにも大きな文字で表記する等の工夫をしています。		